

常呂川濁水取り組み案

北海道開発局 網走開発建設部

堤内水路等に植生帯を設置

降雨時に堤内・外排水路の法面が侵食されるなど、土砂流出の原因の一つとなっていると考えられる。

植生帯を堤内・外排水路の法肩及び法面に地域と連携して設置し、土砂流出の抑制、排水路の掘削等維持管理への負荷の軽減を図る。





降雨時に未舗装の道路が侵食され、土砂流出の原因の一つとなっている。

鹿の子ダムで発生する流木等をチップ化し、関係自治体に提供。道路や裸地のマルチングに活用。

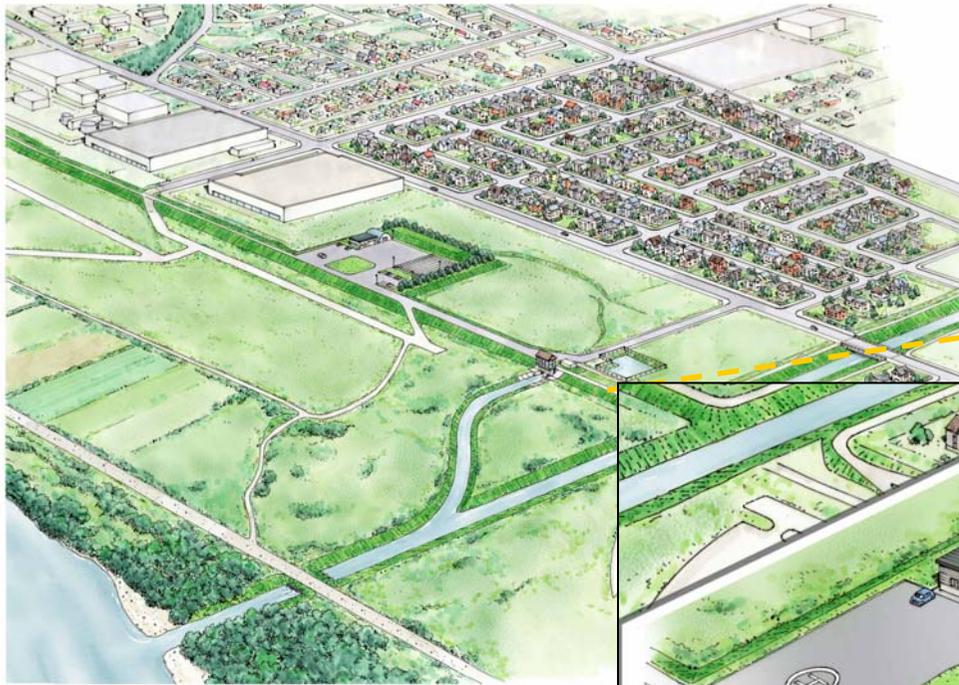


チップ化し提供



常呂川水防拠点を活用した植樹用苗作り

植樹活動に関して関係機関、地域と連携し、水防拠点の空きスペースを活用し、植樹用の苗を栽培。



出水期前に有識者等による講習会を開催し、濁水に関する意識を喚起するとともに、そのメカニズムなど濁りについての基礎知識などに関する講義及び濁水の防止対策事例の紹介等により関係機関の職員の技術力等の向上を図る。